

REPRODUCTIONに関する研究班

— 班 員 一 覧 —

分担研究者

中村桂子 生命誌研究館副館長
早稲田大学・人間科学研究科客員教授（生命誌）

協力研究者（五十音順）

雨森良彦 日赤医療センター副院長、産婦人科部長
飯沼和三 愛児クリニック&予測医療研究所院長
白井泰子 国立精神・神経センター精神保健研究所
社会精神保健部・社会文化研究室室長（社会心理学）
波平恵美子 九州芸術工科大学教授、母子総合センター・新生児部門長
横山哲也 東急病院・産婦人科医長
米本昌平 三菱化学生命化学研究所・社会生命科学研究室室長（科学史）

ワーキンググループ（五十音順）

上野行良 福岡県立大学（社会心理学）
小池みさお 浦安市教育委員会（臨床心理士）
後藤弘子 富士短期大学（刑事法）
斎藤有紀子 埼玉県立衛生短期大学（法哲学）
島 智久 浦安市こども療育センター（療育相談員）
拓植あづみ 北海道医療大学（医療人類学）
中山まき子 鳴門教育大学（児童学）
櫛島次郎 三菱化学生命科学研究所（社会学）
平岡雪雄 浦安市こども療育センター（療育相談所）
柗先京子 共栄学園短期大学（社会福祉学）
皆川まり 国立立川病院（小児科医院）
森山 工 広島市立大学（文化人類学）

REPRODUCTIONに関する研究 目次

第一部 総論

序：“つながる”ということ

1 研究の基本姿勢と課題設定

2 各論のまとめ

2-I 現代において産むこととは—文化的価値体系のゆらぎ

2-II 周産期医療のいま

2-III 周産期の意思決定

§ 高齢出産の増加

生殖年齢幅の拡大と晩婚化／高齢出産／高齢初産／周産期死亡率の問題

§ インフォームド・コンセント

2-IV 出生前診断の倫理的問題

2-V 女性の目からみた出生関連諸技術の現在

§ 不妊の原因

§ 対策、介添え妊婦（人工受精、体外受精、その他）、医療費

2-VI 諸外国における出生関連諸技術に対する政策・諸制度

3 結論・今後の課題

第二部 各論

各論の概要

1 “REPRODUCTION—つながり” からみた各論の位置づけ

2 “REPRODUCTIONにおける意思決定” からみた各論の位置づけ

第1章 REPRODUCTIONに関する意識とその背景

1 “子供を持つ”ことをめぐる現代社会の意識

上野行良

2 継承のイデオロギーに関する考察—農村調査の事例より—

波平恵美子

3 死の彼方の永続性—シハナカにおける墓・祖先・家族関係—

森山工

第2章 妊娠・出産をめぐる女性の視点

1 妊産婦から見た産科医と産科医療

中山まき子

2 不妊治療における患者の選択—選択理由に関する事例研究—

拓植あづみ

第3章 出生前診断と障害児の療育

1 出産年齢の変化と出生前診断

白井泰子

2 障害受容および次子出産にむけて求められるサポート・システム

小池みさを
島 智久・平岡雪雄
柗崎京子・皆川まり

第4章 妊娠・出産をめぐる医療者の視点

1 産科訪問記

拓植あづみ・中山まき子・
斎藤有紀子

2 勤務助産婦の声

斎藤有紀子

第5章 REPRODUCTIONをめぐる個人の意思と制度

1 リプロダクションと個人の自由、意思、権利

斎藤有紀子

2 先進諸国における生殖技術への対応の比較

櫛 島 次 郎